



●取付けの前、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けをおこなってください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取付け、あなたや他人の安全や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをするときが生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物の損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の図表示で区分し、説明しています。

図表示の例

- 記号は行為を禁止する内容を告げるもの(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
- 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

●修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

●交流100V以外では使用しないこと

●レンジフードの壁への埋め込みはしないこと

●レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用してください

●電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること

●配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って法的資格者が工事をおこなうこと

●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付けすること

●レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用してください

注意

●浴室など湿気が多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)

●周囲温度が40℃以上になるところには取付けけないこと

●運転中は、指や物を絶対に入れないこと

●部品の取付けは、必ず両手の手袋をすること

●レンジフードの取付けは、十分強度のあるところを選んで確実に取付けすること

●部品の取付けは、落下によりけがをするおそれがあります

安全上の注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
- レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取付けすること
- アースを確実に取付けすること
- 自然換気型のストープを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される配慮をすること

取付け前のお願

●下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的資格者がおこなう必要があります。

- 大工工事(設置のために下地工事等)
- 配線工事(コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等)
- 電気工事(ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等)

流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建築工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

●ダクトの不燃処理について

- ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
- 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指図書」「検査要領書」に従ってください。

●調理機器の幅はレンジフードの幅内のものでご使用ください。調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。

●屋外壁面の排気口外に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m²/h時50Pa以下のものをご使用ください。防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

●非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効率をいじめるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

●レンジフードは調理機器の真上に取付けてください。なお、レンジフード取付高さには、レンジフードの下端が調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。

●ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください。(目安:勾配1/100~1/50程度)。雨水の滲入や結露水の逆流の原因になります。

●レンジフード取付部の補強部は、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用座付ねじは45mmの長さのものと同梱されておりますが、壁下部に石膏ボードが貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

●レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取付けしないでください。また、横方向50cm以上上層して取付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。

●製品仕様を改造してのご使用は取付けにおやめください。

●汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。

●部屋の中央で調理される場合は油煙が捕集できませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

●建物が密閉されている場合は必ず、約400cm³程度の空気取入口を設けてください。

●寒い地域ではダクトが結露し、レンジフード内に結露水が流れる場合がありますので、不燃処理された断熱材を巻くなどの対応をしてください。

取付け前の調査と準備

警告

●修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

●レンジフードの壁への埋め込みはしないこと

●排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的資格者が工事をおこなうこと

●レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用してください

●電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること

●周囲温度が40℃以上になるところには取付けけないこと

●取扱いの際は、必ず両手の手袋をすること

●レンジフードの取付けは、十分強度のあるところを選んで確実に取付けすること

各部のなまえ

付属品

座付ねじ (φ5.1×45)×4本
本体の取付けに使用します。

ソフトテープ 1本
排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使います。

排気口 1個
本体とダクトの接続に使います。逆風防止シャッター付きです。

引掛ねじ (φ5×35)×2本
本体の取付けに使用します。

製品寸法図

型番	H寸法
DCB-450*	550~700
DCB-600*	700~900
DCB-900*	900~1100

*型の1~4は任意の組み合わせ可能です。

取り付けかた

1. 付属品の確認

●取扱いの際は、必ず両手の手袋をすること

●付属品を確認します。梱包箱から排気口、ねじ等の付属品を取り出し、上項の付属品一覧により不足がないか確認してください。

●お願い
保護用のクッション材と、固定用テープはキズ、破損防止のため、[7.固定テープの取りはずし]まではずさないでください。(図1-1)

●床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

●取付けの際は必ず、破損のないよう十分注意してください。

2. 排気方向の決定

●排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的資格者が工事をおこなうこと

●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付けすること

●レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用してください

4. 本体の取付け

●レンジフードの取付けは、十分強度のあるところを選んで確実に取付けすること

●部品の取付けは確実に取付けすること

●お願い
レンジフードの前後および左右方向の水平を確認してください。また、本体内部の汚れ(油)が各部のすきまから調理面に落下するおそれがあります。

●キッチンパネルの上端部にレンジフード下部面に埋込んで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに不燃材料を埋め込む不燃性材料を使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。

5. ダクトと排気用部品の接続

●お願い
ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図を参照してドリリングタッピンねじを使用範囲以内に固定してください。(図5-1)

●上方排気の場合
ダクトと排気口の接続部に風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。(図5-2)

●後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)
1) 排気口を取り付けます。(図5-3)

●お願い
本体排気口取付位置に取り付いている取付ねじ2本をはずした後に、L形ダクトを本体上部の差込部に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、はずした取付ねじ2本で取り付けます。取付ねじ近傍のねじは取りはずさないでください。

7. 固定テープの取りはずし

1) 整流板をはずします。保護用のクッション材、固定用テープをはずしてください。(図7-1)

2) 整流板を両手で支えながら下へゆっくりとおろします。(図7-1)

3) 整流板の後ろを持ち上げ、整流板用金具からははずします。(図7-2)

●必ず左右同時にはずしてください。金具の変形の原因になります。

2. 排気方向の決定

●お願い
レンジフードの前後および左右方向の水平を確認してください。また、本体内部の汚れ(油)が各部のすきまから調理面に落下するおそれがあります。

●キッチンパネルの上端部にレンジフード下部面に埋込んで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに不燃材料を埋め込む不燃性材料を使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。

4. 本体の取付け

●お願い
レンジフードの前後および左右方向の水平を確認してください。また、本体内部の汚れ(油)が各部のすきまから調理面に落下するおそれがあります。

●キッチンパネルの上端部にレンジフード下部面に埋込んで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに不燃材料を埋め込む不燃性材料を使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。

6. 電気配線

警告

●修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

●交流100V以外では使用しないこと

●配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って法的資格者が工事をおこなうこと

●アースを確実に取付けすること

8. 試運転

注意

●運転中は、指や物を絶対に入れないこと

●電源のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。

●必ず最終設置した状態で試運転してください。

●運転時、各連動の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。

●異音、振動がないことを確認してください。

●屋外の排気口から排気され、異音がないことを確認してください。

●取付けまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

●製品保護のため、はずした保護用のクッション材をまとの状態に取り付けてください。

3. 排気用部品の準備

●「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。

●上方排気の場合(図3-1)

- 1) 排気口付付属品のソフトテープを貼り付けます。
- 2) 本体に付いている取付ねじ2本を取りはずし、付属品の排気口を差込部に差し込み、取付ねじで取り付けます。取付方向は右図を参照してください。
- 取付ねじ近傍のねじは取りはずさないでください。

4. 本体の取付け

●お願い
レンジフードの前後および左右方向の水平を確認してください。また、本体内部の汚れ(油)が各部のすきまから調理面に落下するおそれがあります。

●キッチンパネルの上端部にレンジフード下部面に埋込んで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに不燃材料を埋め込む不燃性材料を使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。

6. 電気配線

警告

●修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

●交流100V以外では使用しないこと

●配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って法的資格者が工事をおこなうこと

●アースを確実に取付けすること

9. お客様への説明

●取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

●取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

3. 排気用部品の準備

●「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。

●上方排気の場合(図3-1)

- 1) 排気口付付属品のソフトテープを貼り付けます。
- 2) 本体に付いている取付ねじ2本を取りはずし、付属品の排気口を差込部に差し込み、取付ねじで取り付けます。取付方向は右図を参照してください。
- 取付ねじ近傍のねじは取りはずさないでください。

4. 本体の取付け

●お願い
レンジフードの前後および左右方向の水平を確認してください。また、本体内部の汚れ(油)が各部のすきまから調理面に落下するおそれがあります。

●キッチンパネルの上端部にレンジフード下部面に埋込んで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに不燃材料を埋め込む不燃性材料を使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。

原寸大型紙 (寸法単位はmm)

※表面は取付説明書になっています。よくお読みになり正しく取り付けをおこなってください。

お願い

この型紙は湿気の影響で2~3mm誤差が生ずることがあります。寸法をお確かめの上ご使用ください。

